

『第5回学生が選ぶインターンシップアワード』団体応募データ				
学校情報				
		応募区分	団体	
		管理ID	200528	

ISタイトル
令和3年度神戸市インターンシップ
オリエンテーション 事前学習（実施項目）
インターンシップ参加目的の明確化 業界・企業・仕事内容の説明 人事や社員による講義・レクチャー 社員との交流・座談会
オリエンテーション 事前学習 内容詳細（自由記述）
<プログラム> ・（講義）主要施策・公務員の仕事と人事・試験制度 ・（講義）研修制度・組織・働き方等 ・参加学生同士の自己紹介 ・若手職員との座談会
インターンシップ 実施項目
【実務体験】実際の業務を一部実施 【実務体験】社員の外回りの業務への同行 【疑似体験】ロールプレイングやシミュレーション形式の仕事体験 【疑似体験】課題に対するグループワーク（企画立案、課題解決、プレゼンなど） 【疑似体験】課題に対する個人ワーク 【交流】社員の同行等による仕事見学オフィス・工場・研究所などの職場見学 【交流】社員との座談会 【その他】人事や社員による講義・レクチャー
インターンシップ 内容詳細（自由記述）
・70の所属でインターンシップ生を受入れ ・申込時のエントリーシートで、「希望職種」や「興味のある分野」を記入してもらい、その内容をもとに職場実習先を決定 ・対象職種：総合事務、福祉、土木、建築、総合設備（電気・機械）、農業、造園、総合科学（化学）、総合科学（生物）、総合科学（獣医・畜産・水産・生命科学・薬学）、消防、心理判定員、学芸員 <令和3年度実習プログラムの一例> ●記者会見の準備、広報紙制作（市長室広報戦略部） ●在住外国人向け広報物の作成（市長室国際課） ●DXの推進やICTを活用した業務改革・働き方改革のための庁内ヒアリング（企画調整局デジタル戦略部） ●所管施設の現地視察、市主催スポーツイベントの実施業務（文化スポーツ局スポーツ企画課） ●こども家庭センター（児童相談所）におけるケースワーク業務（こども家庭局こども家庭センター） ●六甲山活性化事業に関する事業内容の把握や視察、企画提案（経済観光局経済政策課） ●公共空間の再整備によるにぎわいづくり、まちづくりに関すること（建設局） ●地域の方との交流、SNSによる広報（東灘区役所）
協力社員の属性
部長 課長（マネージャー） 若手社員 社外の人（お客様、取引先など）
具体的社員交流
・学生による局区長等、幹部職員への実習報告会 ・若手職員との座談会 ・関係業者との打合せへの同席 ※プログラムは実習先によって異なる

NO. _____

インターンシップ情報				
開催月	2021年8月			
学生の受入日数	3日 (当初5日間の予定から、兵庫県がまん延防止等重点措置区域に指定されたことをふまえ短縮)		総受入人数	142名
対象属性（文理）	特に対象は決めていないまたは受け入れ先によって異なる		単位認定	いいえ
低学年参加	大学低学年を積極的に受け入れていて、参加があった			
参加者の募集	募集に際して地域については特に意識していない。		参加者全体に占める 東京圏からの参加割合（%）	2.1%
他学校などの連携か？	いいえ	連携法人との連名での受賞希望		
連携した学校・企業・団体名				
報酬・支給	報酬・支給等はない	報酬・支給の支払額		
実施形式	全て対面形式での実施			

フィードバック手法			
グループに対する口頭でのフィードバック 個人に対する口頭でのフィードバック			
フィードバック時間	30分～1時間未満	フィードバック頻度	プログラム期間中複数回実施した
FB内容詳細（自由記述）			
・職場実習中は実習生が日報を作成し、その日実習で学んだことや反省点を職員へ共有。翌日にフィードバックが必要な場合は職員から実習生に伝える。 ・一部の実習先では、インターンシップの最終日に、各実習先にて学生による局区長等、幹部職員への報告会を実施し、それに対するフィードバックを実施。			
フォローアップ 事後学習（実施項目）			
その他			
フォローアップ 事後学習（自由記述）			
・知るカフェを利用し、インターンシップ参加学生同士の交流を含めた職員とのオンライン座談会を実施 ・説明会や1day仕事体験に関する情報を、随時マイナゼのメッセージで発信			
工夫ポイント（自由記述）			
・初日に、神戸市の仕事とどういうものなのか、公務員の仕事とどういうものなのかといった基礎的なことを学んでもらうために全体ガイダンスを実施。 ・職場実習の初日にも、指導担当者とその部署にいる職員の紹介、これからのスケジュール、実習内容など、知っておくべき内容についてのガイダンスを実施。 ・職場実習中は、退行前に一日を通して学んだことや反省点を日報にまとめてもらい、一日の振り返りと今後への改善点の認識ができるようにした。			
教育的効果（自由記述）			
・インターンシップを振り返り、得たことをみつめることで、今後の成果につなげてもらう目的で、インターンシップの最終日に、学生による局区長等、幹部職員への報告会を一部実習先にて実施。報告会では、学生がインターンシップで学んだことをプレゼンテーションし、局区長等からフィードバックを行った。			
参加者（自由記述）			
全て対面形式での実施であったことや、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、東京圏からの参加者を増やすための取り組みは実施せず			
改善活動（自由記述）			
インターンシップ終了後、参加学生にアンケートを実施し、改善点を次年度のインターンシップのプログラム等に反映。			